

福 小児マル福制度のご案内



正式名称:小児医療福祉費支給制度

▼ 対象になるかた:健康保険に加入をしており、出生から18歳に到達した最初の3月31日までのかた

▼ 日立市独自の制度:所得制限の撤廃、自己負担金の助成、入院時の食事代の助成

600円未満の外来自己負担金や入院時食事代、県外での受診分は支給申請が必要です。

詳細は下記の「支給申請をする」をご確認いただくか、国民健康保険課へご連絡ください。

| | | | | | |
|----------------------|---|----|---|----|---|
| <p>受給者証を もらう</p> | <p>国民健康保険課、市民課、各支所または日立駅前出張所に〈必要なもの〉を持参します。 ※未申請のかたには、出生届または転入届後2週間以内に案内を送付します。</p> <p>〈必要なもの〉</p> <p>①資格情報が分かるもの(*) ②マイナンバーが分かるもの ③申請者の本人確認ができるもの ④市町村民税課税証明書またはマイナンバーを使用した所得照会への同意書 (④は転入されたかたのみが必要なものです)</p> <p>*被保険者証、資格確認書、資格情報のお知らせ、マイナポータルアプリの端末など (資格取得日、保険者番号、記号、番号、枝番、扶養者名の記載があるもの)</p> | | | | |
| <p>受給者証を 使う</p> | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="343 813 459 1075">県内</td><td data-bbox="459 813 1492 1075"> <p>『マイナ保険証等』と『受給者証』を医療機関、薬局の窓口で提示してください。医療機関の窓口では、下記の自己負担金をお支払いください。 (薬局では、自己負担金の支払いはありません。)</p> <p>外来自己負担金:1医療機関ごとに、1日600円を月2回まで 入院自己負担金:1医療機関ごとに、1日300円を月3,000円限度まで 残りの医療費は、県や市が医療福祉費として医療機関へ支払います。</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="343 1075 459 1209">県外</td><td data-bbox="459 1075 1492 1209"> <p>受給者証が医療機関の窓口で使用できません。 医療機関では健康保険の一部負担金(2割や3割)をお支払いください。 後日、窓口で支給申請が必要です。</p> </td></tr> </table> <p><u>マル福制度が使用できないもの</u></p> <p>*健康保険が使用できない診療や薬</p> <p>*学校・幼稚園・保育園などの管理下(授業、部活動、登下校など)でのケガや病気 →マル福制度の代わりに災害共済給付制度(スポーツ保険)を使用します。詳しくは 学校・幼稚園・保育園の先生に確認してください。</p> <p><u>マル福制度を使用するときに、国民健康保険課に連絡が必要なもの</u></p> <p>*交通事故など、第三者の行為が原因となるケガや病気</p> | 県内 | <p>『マイナ保険証等』と『受給者証』を医療機関、薬局の窓口で提示してください。医療機関の窓口では、下記の自己負担金をお支払いください。 (薬局では、自己負担金の支払いはありません。)</p> <p>外来自己負担金:1医療機関ごとに、1日600円を月2回まで 入院自己負担金:1医療機関ごとに、1日300円を月3,000円限度まで 残りの医療費は、県や市が医療福祉費として医療機関へ支払います。</p> | 県外 | <p>受給者証が医療機関の窓口で使用できません。 医療機関では健康保険の一部負担金(2割や3割)をお支払いください。 後日、窓口で支給申請が必要です。</p> |
| 県内 | <p>『マイナ保険証等』と『受給者証』を医療機関、薬局の窓口で提示してください。医療機関の窓口では、下記の自己負担金をお支払いください。 (薬局では、自己負担金の支払いはありません。)</p> <p>外来自己負担金:1医療機関ごとに、1日600円を月2回まで 入院自己負担金:1医療機関ごとに、1日300円を月3,000円限度まで 残りの医療費は、県や市が医療福祉費として医療機関へ支払います。</p> | | | | |
| 県外 | <p>受給者証が医療機関の窓口で使用できません。 医療機関では健康保険の一部負担金(2割や3割)をお支払いください。 後日、窓口で支給申請が必要です。</p> | | | | |
| <p>支給申請 をする</p> | <p>◇県外での診療などにより、受給者証を医療機関の窓口で使用できなかったとき ◇入院をして食事代が発生したとき →保険適用の医療費や調剤、入院時の食事代が支給されます。</p> <p>国民健康保険課、市民課、各支所または日立駅前出張所の窓口で支給申請をするか、 日立市のホームページからオンライン申請をご利用ください。</p> <p>※申請期限:診療月から5年間</p> <p>〈必要なもの〉</p> <p>①領収書(受給者氏名、受診年月日、金額、保険点数、医療機関名があるもの) ②保護者の銀行口座がわかるもの ③受給者証</p> <p>〈持っている場合に必要なもの〉</p> <p>・診療(調剤)明細書 ・保険者からの高額療養費、付加給付金、家族療養費などの支給額がわかるもの</p> | | | | |

裏面もご覧ください

| | | | |
|--------------|--|------------------------|---|
| 自己負担金の助成を受ける | 日立市では、市独自の制度により外来自己負担金（1日 600 円）や入院自己負担金（1日 300 円）の助成を行っています。助成を受けるためには「医療福祉費自己負担金支給申請書」を国民健康保険課、市民課、各支所または日立駅前出張所に提出するか、オンライン申請での口座登録が必要です。 | | |
| | ※同世帯の保護者のかたの口座を登録します。 | | |
| | ※口座内容や助成金の受取人の変更をするときには再度、申請が必要です。 | | |
| | 医療機関での支払い方法 | 助 成 方 法 | 備 考 |
| | 受給者証を使用して受診し、 支払い額が 600 円のとき ※未振込みの場合にはお問い合わせください。 | 登録口座に <u>自動振込み</u> | 支給決定通知はありません。 「ヒタチシマルフク」と通帳に記帳しますので、お手元にある領収書と支給額を確認してください。 |
| | ・受給者証を使用しなかったとき （県外での受診を含む） ・支払い額が 600 円未満のとき ・令和 2 年 4 月からの入院食事代 ・令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月 までの入院自己負担金 | 窓口での <u>手続き</u> が必要 | 国民健康保険課、市民課、各支所または駅前出張所で手続きするか、オンライン申請をご利用ください。 《必要なもの》 ①領収書と診療明細書 ②保護者の銀行口座がわかるもの ※他の制度から助成があった場合は、その支給決定通知書（健康保険付加給付金、マル福以外の公費負担、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度等） ※申請期限：診療月から 5 年間 |
| 受給者証を更新する | 受給者証は毎年、誕生月の翌月（1日生まれは誕生月）に更新があります。 <u>通知日：有効期間が終了する月の下旬</u> ※自動で更新ができるかた：受給者証を送付します。 ※窓口で手続きが必要なかた：更新手続きの案内を送付します。 ※ <u>小学校終了時の更新時</u> は、市単独制度への切り替えがあるため有効期間が 3 月 31 日までとなります。4 月 1 日からの受給者証は 3 月下旬にご案内します。 | | |
| 受給者証の内容を変更する | 氏名、住所、健康保険等の内容に変更がある場合には、国民健康保険課、市民課、各支所または日立駅前出張所に届出をするか、オンライン申請での変更手続きをしてください。誤った内容の受給者証は医療機関で使用できません。 〈必要なもの〉 ①健康保険の資格情報が分かるもの ②医療福祉費受給者証 ③申請者の本人確認ができるもの | | |

オンライン申請をご利用ください！

- ・健康保険や住所等の資格内容変更
- ・受給者証の再交付
- ・自己負担金の口座登録
- ・支給申請（医療費の払い戻し）



ホームページはこちら

上記の手続きについては、オンライン申請が可能です。
 日立市ホームページ内の申請リンクからご申請ください。

お問い合わせ先

〒317-8601
 日立市助川町1丁目1番1号
 日立市 保健福祉部 国民健康保険課
 医療福祉係
 電話 0294-22-3111 内線 204・205
 IP 050-5528-5078

令和7年 8 月改正版